

令和7年度事業報告書		事業所名	訪問ヘルパーセンターしおかぜ		作成者	長沼 正幸		作成日	R8.3.31	
目標	本年テーマ	(計画) 児島地域の訪問事業所としての存在感を高める								
		(評価) 琴浦ヘルパーと共同で居宅営業を行い、以前と比べると、存在感を高めることが出来た。								
基本処遇及び運営	■令和7年度処遇及び運営方針に対しての評価									
	(計画) ①サービススキルを高めるために、個人で一年間の研修目標を立てる。(登録職員以外)									
	②個人目標に沿った研修計画を管理者が立案する。(動画研修を使用し、正規職員4回／年、契約職員2回／年)									
	③利用ニーズに応えるため、訪問ヘルパーセンターしおかぜ琴浦と連携を図り、月に1回、サービス提供責任者の間で情報共有を行う									
	(評価)									
	①②については一人ひとりに研修目標と研修内容を計画しました。研修計画に沿って実行することもできました。									
	訪問件数の増減により、計画通り、すべて実行することが出来なかった。									
	③毎月サ責会議を実施し情報共有や連携を図り年度当初より連携ができるようになった									
研修・セミナー	■職員研修計画と実績									
		研修 名称	参加実績		研修 名称	参加実績				
		虐待研修	全員							
		サ責の資質向上研修	不参加							
		救命救急講習	2名(原・安藤)							
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果									
		会議委員会名	実績・効果		会議委員会名	実績・効果				
		ヘルパー会議	毎月必ず実施することが出来た。情報共有も図れ、意見交換も出来た。							
		事故予防委員会	ヘルパー会議内で報告及び検討を行い、ヒヤリ報告も併せて行うことが出来た。							
		感染予防委員会	感染状況の確認や訪問時の注意事項など話し合うことが出来た。							
		虐待防止委員会	虐待を未然に防げるように、ご利用者様・ご家族の変化などの情報共有を行った。							
		サ責会議	琴浦ヘルパーサ責と月1回連携会議を開催し、連携を深めれた							

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績				
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価
		R7.12	R7.12	業務継続計画(BCP) 感染症及び非常災害時の シミュレーション	ガウンテクニックの実践練習を実施。実際に訪問時に必要な物品等の確認も併せて行えました。
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度				
	4 月				
	5 月	倫理・法令遵守			
	6 月	接遇マナー研修			
	7 月	認知症研修			
	8 月	介護技術研修;入浴介助			
	9 月				
	10月	感染症関連研修			
	11月	権利擁護・虐待防止研修			
	12月	感染症及び非常災害時研修			
	1 月	事故対応研修			
	2 月				
		ご利用者様アンケートの実施 事業所自己点検			
	3 月				

(総評)令和7年度より、管理者が変更になり、右往左往しましたが、予算達成に向けて努力しました。件数は令和6年度より、51件多く、介護収入は100万円程増収。生活援助サービスから身体介護サービスの割合が増えたことが要因として考えられる。また、7年度は新規利用者20名の受入を行いました、入院者も多く、利用中止の方も21名おられ、稼働率が伸び悩みました。依頼があつて調整を行うも、空いた時間帯にサービスが埋まら無いこともあり、琴浦ヘルパーとの連携が課題になります。また、日曜日も営業していましたが、サービス提供件数が少なく、居宅からの依頼もないため、当面、日曜営業を中止することになりました。7年度、苦情については2件あり、1つは訪問にて移動中、職員が細い道で速度を出していたため、すれ違いの時に、注意を受けました。ドラレコを確認し、ヘルパー間で共有し、速度を出さないよう、注意喚起を行いました。2つ目は、言葉遣いによる苦情で、冷蔵庫の整理の際、「処分するよ」という発言が「捨てるよ」と解釈され、利用者様に不快感を与えてしまいました。ヘルパー職員間で共有し、言葉遣いに注意するよう促しました。また、サービス提供にて、訪問したら、永眠されていたケースが2件ありました。7年度もサ責2名には救命救急講習に参加していただきましたが、8年度も他職員に参加してもらい、万が一の時に対応できるようにと思っています。最後に年度末に行った満足度アンケートの結果ですが、皆様から助かっている、有難いといったご意見を頂きました。来年度も引き続き、好評を得れるよう、職員一人一人が事業所の顔となるよう、取